

平成24年3月22日

東日本大震災における広島大学の対応について

第26回学長定例記者会見（平成24年2月22日）以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

本学は、地震により被災された皆様に対して、引き続き、できる限りの支援を行う所存です。

記

1. 医療活動支援関係について

（1）「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

- 緊急被ばく医療チームを編成し、福島県へ連続派遣。

平成23年3月12日（土）第1班を派遣し、平成24年3月21日（水）現在までに37班、延べ1,236人を派遣しています。

基本チーム構成は、医師2人（うち1人は救急医）、診療放射線技師1人、看護師1人、事務職員2人の計6人で、第13班（4月28日出発）以降は一旦、3人体制としましたが、第19班（5月20日出発）から3～11人体制とし、一時帰宅に伴うスクリーニングに対応するとともに、7月からは福島第一原発内に設置の「救急医療室」への救急医の派遣も行っており、11月からは、看護師も順次派遣しています。

（2）神経内科医派遣

- 平成24年3月19日（月）～30日（金）、全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会の依頼により、岩手県陸前高田市（県立高田病院）へ神経内科医（病院：医科診療医）を外向派遣しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 山根
TEL：082-424-6011

2. ボランティア活動について

- 「広島大学震災復興支援ボランティアOPERATIONつながり」の「つながり隊」第4次隊17人が、3月9日（金）から19日（月）まで、仙台市、岩沼市、名取市の仮設住宅において傾聴やお手伝い学習支援、交流会の開催などのボランティア活動に従事するとともに、東北

大学片平キャンパスにおいて、市民とボランティアの集いや広島大学生と東北の学生との意見交換を実施しました。交通費（バス借上）や活動経費など（宿泊費の一部補助を含む）を「広島大学基金」から援助しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

教育室学生生活支援グループ 龍王

TEL：082-424-6146